



主な内容

P2 平成21年第4回定例会概要

P4 韓国・釜山射撃場火災事故に
関する意見書

P5 議決結果・賛否表

P6 常任委員会報告

P9 一般質問

P15 請願・陳情について

P16 会期日程・編集後記



一般会計補正予算(第7号)案など

15議案を慎重審議

平成21年第4回定例会は、12月9日から25日までの17日間の会期で開催されました。今回は平成21年度一般会計などの補正予算案7件、条例案1件、人事1件、その他5件、議員提出1件の合計15議案を審議し、採決の結果、原案可決14件、原案否決1件となりました。一般質問は11人の議員が行いました。

主な議案

◇一般会計補正予算

主な内容は、障害者自立支援給付事業予算1億4905万3千円、国道整備事業地元負担金3150万円、太陽光発電システム整備事業6663万8千円の増額。一般職・特別職の給料・期末勤勉手当の減額3126万8千円。

◇国民健康保険特別会計補正予算

国民健康保険に加入している人が、一ヶ月間に同一の病院等で支払った医療費が一定額を超えた場合に、申請することによってその超えた額が高額医療費として支給される。一人当たりの支給額が今後増加することが見込まれるために、今回1億615万5千円が増額された。

◇監査委員の選任

執行部より提案された人事。

◇意見書の提出

韓国・釜山射撃場で発生した火災事故に関して、事故原因の究明や再発防止策の確立および被害者に対する補償問題について国が責任ある対応をとること等を要望するもの。

(4ページ参照)

一般会計補正予算の主な内容

新型インフルエンザ対策事業

504万4千円

新型インフルエンザワクチンの優先接種対象者のうち、低所得者、生活保護者に対する接種費用。ワクチン接種単価が低くなったことによる減額も合わせて実施する。



予防接種の様子

現年農地等災害復旧事業

2,523万7千円

梅雨前線豪雨により被災した農地や農業用施設の復旧を図る。（農地災害4箇所、農業用施設災害10箇所）



被災現場（吾妻町柳迫地区）

国県道整備事業地元負担金

3,150万円

県が管理している国道・県道の整備のために地元市として負担金（15%）を支出する。



県道雲仙千々石線

太陽光発電システム整備

6,663万8千円

小学校に太陽光発電システムを設置し、児童が環境問題について理解を深めるよう活用する。



太陽光発電システムが設置される鶴田小学校

意見書を全会一致で可決し、 関係省庁へ提出しました。

韓国・釜山射撃場火災事故に関する意見書

去る11月14日、韓国・釜山広域市の射撃場で発生した火災により、観光旅行を目的に訪れていた本市住民の9名が突然の惨劇に巻き込まれ、残念ながら8名がお亡くなりになり、1名が重傷を負うという大変悲惨な事故が発生した。楽しいはずの旅行の途中で亡くなられた方々やご遺族の方の気持ちを考えると残念でならない。

被災者の家族は12月14日、被害者同士の交流と情報交換、被害者と支援者間の連携などを趣旨に「雲仙市被害者の会」を設立され、事故の原因究明を求めるほか、射撃場の責任者をはじめ、韓国政府や釜山市との補償交渉に当たるとのことである。

しかしながら、今回の火災事故においては、入院先の病院がご遺体を引き渡す条件として公的機関の保証を要求し、人道的立場から地方自治体である本市が応じざるを得ない事態となったことは誠に遺憾である。

よって国におかれては、海外における邦人保護の一層の強化や海外渡航の安全対策の啓発を図っていただき、韓国政府に対しては、ご遺族及び地方自治体の立場で、事故原因の究明や再発防止等を早急に講じるとともに、被害者に対する補償問題については責任ある対応をとられることを要請するよう以下のことを要望する。

1. 海外において重大事故等緊急かつ応変な対応が求められる場合においては、地方自治体に対応を委ねることなく、国が責任を持って対処すること。
2. 海外渡航の安全対策の啓発をさらに図ること。
3. 被害者とその家族、遺族の救済が図られるよう補償金を具体化すること。
4. 事故原因の徹底究明と責任を明確化すること。
5. 再発防止策を早急に実行すること。
6. 韓国国内旅行者に対する安全指導の徹底を図ること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成21年12月25日

長崎県雲仙市議会

衆議院議長 横路 孝弘 様
参議院議長 江田 五月 様
内閣総理大臣 鳩山由紀夫 様
外務大臣 岡田 克也 様

審議案件及び議決結果

議案番号	事 件 名	議決結果
議案 第 76 号	県央地域広域市町村圏組合規約の変更について	原案可決
議案 第 77 号	ふるさと市町村圏基金の廃止に伴う財産処分について	原案可決
議案 第 78 号	雲仙市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案 第 79 号	平成21年度雲仙市一般会計補正予算（第7号）案について	原案可決
議案 第 80 号	平成21年度雲仙市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）案について	原案可決
議案 第 81 号	平成21年度雲仙市簡易水道事業特別会計補正予算（第3号）案について	原案可決
議案 第 82 号	平成21年度雲仙市下水道事業特別会計補正予算（第3号）案について	原案可決
議案 第 83 号	平成21年度雲仙市国民宿舎事業特別会計補正予算（第2号）案について	原案可決
議案 第 84 号	平成21年度雲仙市水道事業会計補正予算（第2号）案について	原案可決
議案 第 85 号	損害賠償の額の決定及び和解について	原案可決
議案 第 86 号	動産の買入れについて	原案可決
議案 第 87 号	平成21年度雲仙市国民宿舎事業特別会計補正予算（第3号）案について	原案可決
議案 第 88 号	損害賠償の額の決定及び和解について	原案可決
議案 第 89 号	監査委員の選任について	原案否決
発議 第 8 号	韓国・釜山射撃場火災事故に関する意見書について	原案可決

賛 否 表

	議席番号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
	結 果	表 決 数	林田 哲幸	坂本 弘樹	酒井 恭二	平野 利和	浦川 康二	大久保 信一	深堀 善彰	前田 哲	上田 篤	町田 康則	森山 繁一	前川 治	大久保 正美	小畑 吉時	元村 康一	井上 武久	柴田 安宣	小田 孝明	岩下 勝	福田 大東	町田 誠	岩永 基和	中村 勲	中村 一明	松尾 文昭
県央地域広域市町村圏組合規約の変更	可決	24：0	○	○	○	○	○	▲	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
道路占用料徴収条例の一部を改正する条例	可決	24：0	○	○	○	○	○	▲	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成21年度一般会計補正予算（第7号）	可決	24：0	○	○	○	○	○	▲	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
監査委員の選任について	否決	10：14	投 票（欠席1）																								

(○)は賛成 ●は反対 ▲は欠席 -は棄権

本委員会に付託された左記の案件について、原案可決3件と決定しました。
 主な案件の質疑内容は次のとおりです。

付託案件	審議結果
県央地域広域市町村圏組合規約変更ほか1件	原案可決
平成21年度一般会計補正予算案	原案可決

県央地域広域市町村圏組合規約の変更

総務

管理者、副管理者及び組合議員の選任方法を変更するとともに、組合の共同処理する事務の一部及びふるさと市町村圏基金を廃止するため、議会の議決を求められたもの。

質疑●組合議員数はドント方式による配分で、諫早市8人、大村市5人、雲仙市2人と、人口が多い市の方に偏る恐れがある。均等割で一人ずつを各市に与えて、残りを人口割にするような配分方法に要望する考えはないか。また、組合負担金のうち、総務費において

は、各市の負担割合で、平等割として経費の2割を負担しており、議員数の配分も負担金の割合で配分すべきではないか。
答弁●3市構成の中で15人の組合議員中、本市からは2人ということで人口割とはいえ、少ないと

考えている。組合議員の配分など、構成の変更には、構成各市の議会の議決が必要ではあるが、本市が構成市の一員として発言力を確保するため、雲仙市としても議員数の適正配分については提案していきたい。
〔付帯決議〕各市の組合負担金のうち、総務費の負担割合においては、2割の平等割が設けられている。議員数の配分においても、平等割を採用するなどの規定を設けて、人口が少ない自治体の意見でも、一構成市の意見として反映されやすくなるような措置がとられるよう提案すること。

ふるさと市町村圏基金の廃止に伴う財産処分

ふるさと市町村圏基金

の廃止に伴う財産処分に
 関する関係市との協議について、議会の議決を求められたもの。

質疑●県からの助成金は返還しなければならぬのか。

答弁●基金造成にかかる
 県の助成金が、長崎県ふるさと市町村圏基金補助金交付要綱に基づいて交付されており、基金を廃止する場合は、この要綱の規定に基づいて知事の承認を受けるとともに、県に補助金を全額返還することとなっている。

主なものとして、歳入では普通交付税、地域活性化・経済危機対策臨時交付金の増額、歳出では共済組合負担金の増額、給料・期末勤勉手当の減額などを計上したものの、
質疑●期末手当については、人事院勧告により減額するものであるが、特別職は人事院勧告の影響は一切ないと思うが、どういう理由で特別職も減額したのか。
答弁●特別職については、人事院勧告の規定はないが、国家公務員に勧告を出す場合に審議官以上の指定職というのがあり、この方たちには勧告を出している。これを参考にしながら、三役と協議を行い減額するよう決定した。
質疑●国庫補助金で地域活性化・経済危機対策臨時交付金が追加計上されているが、今回の計上ですべてになるのか。
答弁●国から示された限度額が11億6354万6千円であり、今回の計上ですべての事業に充当した。

ふるさと市町村圏基金の廃止に伴う財産処分
 平成21年度一般会計補正予算(第7号)案

質疑●繰越明許費の計上の考え方は、3月まで待つて計上する方法と繰

り越さざるを得ないことが判明した時に計上するという2通りあると考え。今回、判明した時に計上しており、今後は基本的にどう考えているのか。
答弁●年度内に事業を完了させることが基本と考えており、年度内に完了が見込めない場合に3月に繰越明許費計上することを基本と考えているが、入札を執行する時点において、どうしても3月31日までの工期では十分な工期が見込めない時は、12月に計上することもあると考えている。
 ※繰越明許費
 なんらかの理由で、その年度内に支出を終わらない見込みがあるものについて、議会の議決を得て翌年度に限り繰り越して使用できるようにする予算。

常任委員会報告

付託案件	審議結果
平成21年度一般会計補正予算案	原案可決
平成21年度国民健康保険特別会計補正予算案	原案可決
動産の買入れ	原案可決

本委員会に付託された左記の案件について、原案可決3件と決定しました。
 主な案件の質疑内容は次のとおりです。

平成21年度一般会計補正予算(第7号)案

質疑●障害者自立支援給付事業の増額について、介護給付と訓練給付とあるが、どちらの見直しが大きかったのか。また、その要因は。

答弁●見直しが大きかったのは介護給付で、主な要因として、旧法施設及び共同生活介護の単価が上がったため。

質疑●生活保護費支給事業について、補正後の金額と前年の決算を比較した場合、1億2300万円増となるが増額の要因は。

答弁●平成21年4月から11月までの申請件数が72件あり60世帯の生活保護を新たに開始している。平成20年度末と比較した場合、44世帯70人の増となっており、病気による収入減、医療費支払いの困難による案件、仕送りの減少、施設入所者の入所料金支払い困難による案件など、医療や介護を

必要とする方の申請が増えていたため。

質疑●太陽光発電システム整備事業について、設置されない学校についてはどのような教育をされるのか、また、財源は。

答弁●小・中学校28校の内、小学校7校に設置されるので、それ以外の学校については、近くの学校に向いて学習をする体制を作っていくたい。

財源は、安全・安心な学校づくり交付金が2分の1交付されるが、公共投資臨時交付金が交付される見込みである。

質疑●雲仙・南島原保健組合負担金増の内容は。

答弁●救急医療に対する負担金及びベッド一床当たりの単価改正による負担金など、地域における公立病院の役割を果たすために医師や看護師などの雇用も含め、医療提供体制を確保するために充

てられる病院運営の体制づくりのための負担金である。

平成21年度国民健康保険特別会計補正予算(第3号)案

質疑●一般被保険者高額療養費について、100万円以上高額な医療費の件数が伸びている理由は。

答弁●当初予算は、過去の支給実績を参考にして国の標準的な算定方法を用いて予算を計上していたが、1人あたり的高額療養費の支給費が当初見込みよりも伸びており、今後も増加が見込まれることから増額補正となった。主な要因としては、精神障害、癌、神経系や循環器系の疾病などによる高額な医療費の件数が増加傾向にあることがあげられる。

質疑●高額療養費が今後伸びる可能性が大きいのが、その対策は。

答弁●雲仙市における高額療養費を疾病ごとに分類してみると、精神障害の疾患と高血圧性の疾患、糖尿病などの生活習慣病が多い。長期にわたって治療が必要となる被保険者が増えているということが高額な医療費の増につながっていると考えている。高額な医療費を抑制するための対策として、高額療養費の中に生活習慣病に起因する疾患も多く含まれていることから、生活習慣病を予防するために特定健診の受診率などの向上を図っていききたい。

質疑●国保財政調整基金は平成22年度で残高がなくなるが予想されるが、財源の確保についてどのように考えているか。

答弁●基金は枯渇しつつあり、収納率も低下している。反面、医療費は年々増加している。対策として、市民窓口課、税務課、収納推進課及び健康づくり課でプロジェクトチームを作り今後の対策を協議、検討しているところである。

動産の買入れ

給食配送トラックを購入することについて、議会の議決を求められたもの。

質疑●配送用のトラック4台分はこの給食センターに配置するのか。

答弁●新しく購入する4台を含めたところで、3給食センター全体の状況を考慮して配置する。

質疑●処分予定の4台のトラックの処分方法と購入後の経過年数は。

答弁●処分方法は売却を予定しているが、売れなかつた場合は廃車を考えている。経過年数は、国見学校給食センターの2台は17年目と14年目、吾妻・愛野学校給食センターの2台は14年目と13年目となっている。

文教厚生

産業建設

平成21年度一般会計補正予算(第7号)案

本委員会に付託された左記の案件について、原案可決9件と決定しました。
 主な案件の質疑内容は次のとおりです。

付託案件	審議結果
道路占用料徴収条例の一部を改正する条例	原案可決
平成21年度一般会計補正予算案ほか5件	原案可決
損害賠償の額の決定及び和解2件	原案可決

主なものとして、歳入

では養豚振興プラン環境保全推進事業補助金、歳出では長崎県養豚振興プラン環境保全推進事業、国県道整備事業地元負担金、現年農地等災害復旧事業の増額などを計上したもの。

質疑●農地有効利用支援整備事業において、23箇所申請が出された中で7箇所が取り下げられたとのことであるが、申請者に対し事業内容は説明していたのか。

答弁●この事業は今年度国が創設し、市としても事業の啓発を行っていたが、申請を受け付ける段階で整備水準など事業内容の見直しが必要とされ、さまざまな制約が生じた関係で7箇所が取り下げに至った。

質疑●農業委員会の調査

において「復元不可能」と判定された農地についても、耕作放棄地解消という事業の趣旨を考慮し対象とできないのか。

答弁●申請には農業委員会の調査結果を添付する必要があるので、対象とすることはできない。農業委員会の意見を尊重したい。

質疑●繰越明許費のコンベンションホール整備事業、雲仙メモリアルホール整備事業において、整備の目的は会議などの誘致であると考えますが、多くの会議が開催される年度末、年度始めに工事の完成を間に合わせる方法はないか。

答弁●コンベンションホールは貴重な構造物で、復元を兼ねた改修であること、雲仙メモリア

ルホールは現在暖房のみ

の空調であるが、別の方法での冷暖房を検討しており、どちらも設計に時間を要している。できる限り早い時期に完工させたい。

質疑●歓迎モニュメント整備事業において、入札は行わず石原和幸氏との随意契約とのことであるが、財源である地域活性化・経済危機対策臨時交付金の趣旨と異なり、雲仙市外の方に依頼する特別な理由があるのか。

答弁●石原氏は数々の実績を持った今注目の芸術家であり、雲仙観光協会もこの事業に限らず石原氏を起用したいとの意向である。市としても彼の作品で観光客呼び込みたいと考えており、競争入札には適しないことか

ら随意契約としたい。

損害賠償の額の決定及び和解

道路の設置又は管理の瑕疵に起因して発生した事故について、損害賠償の額を決定し、これに伴う和解を行うことについて、議会の議決を求められたもの。

質疑●今回のような事故は大雨などの災害時には今後も起こりうると思われるが、どのように捉えているか。

答弁●今回の事故現場の対応については、グレーチング蓋が開かないようにボルトで固定した。市内の危険箇所を点検するなど、このような事故が起らないよう職員で対応していきたい。

損害賠償の額の決定及び和解

国民宿舍望洋荘において発生した食中毒につい

て、損害賠償の額を決定し、これに伴う和解を行うことについて、議会の議決を求められたもの。

質疑●示談の手続きはどのようになっているのか。

答弁●被害者の方へお詫びをし、事前に保険会社と確認した補償内容を提示し、示談交渉をさせていただいた。示談の内容はすべての方に同意をいただいている。

一 般 質 問

11人の議員が登壇し、市政に対する質問を行いました。

町田 康 則 …… 9 ページ	浦 川 康 二 …… 12 ページ
町田 誠 …… 10 ページ	柴 田 安 宣 …… 13 ページ
平野 利 和 …… 10 ページ	中 村 一 明 …… 13 ページ
酒井 恭 二 …… 11 ページ	深 堀 善 彰 …… 14 ページ
中村 勲 …… 11 ページ	小 田 孝 明 …… 14 ページ
福田 大 東 …… 12 ページ	

一般質問は、質問者自身が議事録をもとに原稿を作成しています



まちだ やすのり 小浜町

町田 康則 議員

農家・市民を大
変困らせている
イノシシ対策に
ついて

町田議員 長崎県有害鳥獣被害防止特区を13市町が、許可を受けている。これは、免許を持った人が集落の中に一人でもいれば、箱罟の設置ができ、作物被害に遭っている近くに箱罟を置くことにより、本当に農家を困らせているイノシシを捕まえることができる制度である。特区の申請をすべきでは。

酒井農林水産商工部長

猟友会の方も含め、再度協議をしていきたい。

町田議員 私も受講した

が、イノシシ対策の指導者を育てるイノシシ大学を5人の市職員も受講した。彼らをどのように使うのか。

酒井部長 受講した内容をパンフレットにして、イノシシ対策の会議などに出ていき、対策を一緒になって講じたい。

町田議員 冊子もいい

が、現場に行って直接指導をしてほしい。農家の方々は、効果のある対策を市に取ってほしいと思っている。作物を作る気力のあるうちに対策を取らないと、作る気力もなくなる。そして農業を辞める人が増え、耕作放棄地が拡大し、イノシシが益々繁殖することになる。農業者にとってはまさに死活問題である。ワイヤメッシュなど国・

県の補助金の申請時期が分からない、また、申請には、2戸、3戸以上の世帯が必要となっており1戸で困っている人がいる。被害に遭っている人がばかりでなく、その下の

人を市と一緒に指導申請者になれるように指導してほしい。

酒井部長 補助金の申請期間については、今以上に広報していきたい。また、集落・団体で対策を講じたほうが効果が発揮できるので今後も指導していきたい。

町田議員 佐賀県武雄市

にはイノシシ課がある。39歳の樋渡啓祐市長のもとで、イノシシの駆除とイノシシ肉を使った商品の開発や販路開拓に当たっているらしい。加工センターを作り、ボタン肉、ハムソーセージなど加工販売し、全国から注文が殺到し、品不足がみららしい。市長はこのイノシシ課をどう思われるか。

奥村市長 樋渡市長は、私もよく知っている。イノシシ課は全国でも初めての試みで、これがどこまで実例として成功しているのか見きわめていきたい。



町田 誠 議員
まぢだ まこと 千々石町

韓国釜山市で発生した事故への対応について

町田議員 このたび御家族の方にはもちろんのこと地元の方みんなが郷土の仲間の相次ぐ訃報に涙もかれはて、現地に行かれた御家族は、ぶつけない怒りも十分に出せず、どんなに悔しい思いをされたか。楽しいはずの旅行が1人を除いて無言の帰国となり、無念でならない。

11月14日の事故発生後、夜11時頃関係機関からの情報が乏しく家族は不安と怒りの中で、雲仙市役所に対策本部の立ち上げを要請した。相手は畑中政策企画課長であった。「今のところ考えていない。対策室は作って

いる。」との答弁であった。その後11月20日に議員全員協議会が開かれ、説明の中で今回の事故に対して「市としても8時30分に対策本部を立ち上げ対応した。」と虚偽の説明があったことに対し抗議した。

また釜山市は日本側に費用請求はしないと新聞報道があったが、実際には島鉄観光が加入の旅行特別保険から出る予定の死亡時保険金から支払うと病院側に答弁している。病院側はその支払いに対する公的機関の保証を要求し、遺体引き渡しにに応じている。病院側の心理が理解できない。市長の答弁を。

奥村市長 対策本部は午後8時30分時点で設置した。遺体搬送の時、治療費の請求については領事館より「時間が刻々と迫っている、民間企業の保証ではどうにもならない。公的機関の保証が必要だ。」ということで行った。

畑中政策企画課長 その時点で被害に遭われた方

の事実確認。マスクミが押しかけ、対応に迫られた状況の中で、議員に対する答については大変申しわけなく思っている。

公立新小浜病院の運営の現状と雲仙市の対応 管理者である市長の見解を

町田議員 公立新小浜病院は指定管理者である三校会との契約期間が23年3月31日で終了であり、次期契約は契約期限の1年前までに両者または片方から辞退が出ると解消される。公立新小浜病院の存続について病院を利用している患者さんを安心させる意味からはつきりしてほしい。

奥村市長 公立新小浜病院は、雲仙市・南島原市市民の中核病院であり、市民に不安を与えているなら、当然存続して地域医療に貢献していき



平野 利和 議員
ひらの としかず 国見町

介護保険制度について

平野議員 雲仙市における介護保険制度について尋ねたい。公明党は、全国3千人の地方議員が動き、介護保険総点検運動を行っている。深刻化する介護現場の実態を全国的に総点検し、本格的な高齢社会に対応しての介護のあり方など、新たな介護ビジョンを組み立てていこうと取り組んでいる。

全国で高齢者介護をめぐる家族や親族間での殺人、心中などで被介護者が死に至る事件など、行政や周囲の支援を受けずに孤立し親や配偶者と死を選ぼうとした実情が報道されている。介護保

険はこれからこそ必要な制度であり私達が改革をして育てることが必要だと思うが、雲仙市における介護状況を尋ねたい。

奥村市長 介護保険制度は高齢化の進行とともに要介護者が増加し、従来の老人福祉や老人保健では介護問題への適切な対応が難しくなってきた事を受け、平成12年4月に創設された。特に介護等が必要な方の尊厳を保持し、能力に応じて自立した日常生活を営むことができるよう支援することが基本理念としている。

命のカプセル設置について

平野議員 命のカプセルとは、もしもの時に救急隊員が来て、名前や生年月日、血液型、かかりつけの病院等がわかるよう記入し保管しておくものだ。これを見ると迅速な対応が取れるのではない

かとと思うが、設置の考えは。酒井市民福祉部長 総合的な視野に立って判断していきたい。



イノシシ対策について

平野議員 私が選挙期間中に、雲仙市民の皆様より「イノシシをどがんかして下さい。」との要望があったので質問したい。

酒井農水産商工部長 さまざまな問題から、イノシシ肉加工処理施設を設置することは難しい。

鳥原半島3市で加工処理施設を建設しブランド肉化してはどうか。



さかい きょうじ
南串山町 議員

市長選立候補について

酒井議員 今回の市長選

の立候補表明が遅くなったように思うが、何故遅くなったのか、どのような思案思考があつて立候補の決断をしたのか。

そもそも4年で市長が言う世界に誇れる市に雲仙市がなったと考えているのか。そして4年間雲仙市長をやる気力があるのか。

奥村市長 任された1期4年間の市政運営を全うすること、取り組んできた一つ一つの施策についての検証と自己評価を

行い、今後の雲仙市の振興策についても様々な面から熟考し、これからの市政運営に対する意欲を固め2期目の立候補を決意した。

また4年間を総括する中で、これから市民が期待するような市政運営が出来るのかということでも悩んだことは事実だ。そして合併に対する当初の

風向きと現在の風向きは、世界経済や政権交代等により厳しくなっているので、議会と協力しながらがんばっていかうと思っている。

後継者結婚対策について

酒井議員 雲仙市内の後

継者の結婚状況はどのようになっているのか、これまで答弁は、「行政が準備したものではありません。」ということであるが、もっといい知

恵を出して、この厳しい結婚難の時代に対応すべきではないか。今後市長は後継者結婚対策を重大な問題として、解決に努力する用意があるか。

奥村市長 今まで自治体

で色々と結婚対策を行ってきたが、あまり成功しなかった。行政が準備してしまつと、若者たちにとってはお仕着せのようになつていたのではないかと反省している。

まず当事者からの提案が必要で、そこに行政がどこまでサポートできるのか、それについても難しいところだと考えている。

ただ、この問題は今後の雲仙市の人口対策や子育て世代への対策として、大きな問題であると認識している。



なかむら いさお
千々石町 議員

雲仙市道の改良拡幅について

中村議員 私は、合併当

初から南北に24km、東西に19kmと言われている細長く扇形の雲仙市にとつて、市民の通勤や往来などの利便性を図るためには、旧町を結ぶ市道の改良拡幅にあると思う。以下の点について市長の見解を求めたい。

- 1、千々石才野線の拡幅整備を
- 2、愛野椿高野東免場線の拡幅整備を
- 3、愛野桃山線の拡幅整備を
- 4、千々石下倉線の拡幅整備を

5、千々石田原3号線の舗装整備を

6、平成20年度および平成21年度の雲仙市道入札結果について

位を付け、計画的に実施していきたい。

奥村市長 市道の整備につ

いては、一定の予算を確保しながら整備を行っているところであるが、厳しい財政状況が予測される中で、費用対効果等を勘案し、事業の選択と集中により、市民にとって身近な生活道路を年次的に整備していきたい。

緒方建設整備部長 市においては合併前の旧町の継続事業を中心に道路整備を推進しているところである。新規事業については選択と集中により実施する必要があるが、千々石田原3号線については、アスファルト舗装の亀裂が著しく通行に支障をきたしていると思われ

るので、他の路線と合わせ総合的に判断をしていきたい。今回指摘された箇所がどれくらいあるか調査を行い調査結果によっては緊急性により順

境川総務部長 平成20年度入札実績では、件数41件、契約金額6億3060万円の

内、市内本社が受注したものが、40件、契約金額5億2110万円、市内営業所が受注したものの、1件、契約金額1億950万円。平成21年度は、11月末現在で発注件数、38件。契約金額、9億5110万円。その市内本社が受注したのが33件、契約金額6億510万円、市内営業所が受注したものが5件、契約金額3億4600万円となっている。

中村議員 市道関係で平成20年度の17.4%、平成21年度の36.4%の市の予算が市外に流出しているが、これ以外の事業でも相当な資金が流出していると思われる。今後は、市内事業者の活用を十分検討し、育成をお願いしたい。



ふくだ だいどう 小浜町
福田 大東 議員

市長就任2期目の抱負について

福田議員 市長の1期目の自己評価と2期目の抱負は。

奥村市長 自分が掲げたマニフェストに関してどの程度取り組むことができたか、就任以来4年間の事業について進捗状況をチェックし検証した結果を公表したが、全体的に一定の割合で達成できたと考えている。これまでの4年間は、三位一体の改革による地方交付税の削減、1000年に1度と言われる経済危機など、きわめて厳しい時代が到来したことを認識

させられた中にあり、マニフェストの着実な実施を市政の重要課題として位置づけ、全力で取り組んできた。特に、財政の健全化と徹底した情報公開、公平公正な行政運営の確立に取り組んできたと思っている。

2期目の抱負は、政権が交代し、住民も地方自治体もあらゆる面において大きな転換が求められるものと考えている。市民が胸を張って誇れるようなまちづくりのため、雲仙市総合計画の着実な推進について、これまで以上の意欲を持って市政運営に当たる覚悟でいる。

転換期の市長としての責任の重さを痛感している。市民の皆様の声を汲み取りながら、常に最善の施策を実行してゆく決意である。

福田議員 2期目のマニフェストを公表すべきと

思うがどうか。

奥村市長 自身では、雲仙市総合計画がそれであると認識している。

墓地設置基準について

福田議員 共同管理墓地の水道（無料）設置申請がなされれば許可するか。

東市民生活部長 公平な取り扱いをしたい。

消防水利について

福田議員 千々石町地区に消防水利不全のところがあるが、防火水槽の設置はできないか。

東部長 調査後、善処する。



うらかわ やすじ 吾妻町
浦川 康二 議員

市長2期目の市政運営・雇用機会の創出について

浦川議員 市長は観光と農業など他産業とリンク

した相乗効果による雇用と、地方都市最大の企業である市役所業務の棚卸しを行い、職員で行うべきこと以外は民間の別会社を立ち上げ雇用を図るとされているが、その具

奥村市長 観光制度の充実・農林水産業のブランド化による直販店や、製品加工による需要増加での雇用創出と、職員削減を視野に、行政サービスで嘱託職員を含め別の形で棚卸しができないか、実地研修や調査を進めている。

公共料金の不公平負担の解消について

浦川議員 不公平負担の現状で水道料金は5ランクの格差がある。統一まで2年6ヶ月の経過措置でも、市民が等しくその恩恵を受けていない。水道事業の安定経営においては、経過措置の3年間で約5150万円の減収額となるが、経営はどうするのか。

現水道事業給水条例では、公共料金の不公平負担と水道事業の安定経営が困難になっている。条例改正の検討を提案する。

緒方建設整備部長 水道料金統一は段階的に料金格差をなくし、市民の負担減に配慮している。減収額は経常利益の範囲内で、赤字経営にならない。

奥村市長 議員の指摘のことを、私が十分答えられなかった部分があるので協議検討する。

陸上競技及びサッカー場建設について

浦川議員 建設経緯で関係者からの建設要望及び建設反対の要望書はいつ出されているか、また建設候補地が愛野運動公園芝生広場の地名があるが選定経緯は。

建設の必要性和緊急性では、国体でサッカー場1面が不足するからこれを機に陸上競技場建設の構想があるが、2日間で6試合だけのサッカー競技のため、建設の必要性があるか。

塩田教育長 建設要望書は陸上競技協会、建設反対の要望書も出ている。候補地の選定は立地条件・交通の利便性等を考慮し選定した。

必要性は市内の中学校の運動場が狭く、また公式の陸上競技施設がないためであり、緊急性についてはこの施設を利用する平成26年開催の国体間に合わせるためである。



しばた やすのぶ 愛野町
柴田 安宣 議員

都市計画の指定について

柴田議員 雲仙市全域が都市計画区域の指定を受けると、人口減少を押し進める気がする。メリットが少なく市民等にとつては、多くの規制があり経費もかかり、デメリットが大変多いと思う。地域の意見集約を行って取り組むべきではないか。

緒方建設整備部長 メリットは規制や制限が増えることで、市民の生活環境の向上につながることである。規制として、新築改築の際に建ぺい率と容積率及び高さの制限や、進入道路との兼ね合いや建築確認の費用が生じることなどである。県の計画を見定めて対応したい。

千々石町の都市計画見直しについて

柴田議員 千々石町は全域が都市計画に指定されており、風致地区は建ぺい率がより厳しく、新築改築やアパート等を考えている人は不満があると聞いている。見直しで町の活性化を図るべきと思うが。

緒方部長 指定を受けた地域を除外するのは容易ではないが、山間部の区域を除外する方向で検討している。

吾妻町農業振興地域の見直しについて

柴田議員 商工業の活性化による市の発展を考えると市役所周辺や国道沿いの農地を合併したところを口実に農振地域から外すべきではないか。

酒井農林水産商工部長 現在の状況では、農振法の要件を満たさないため除外することは困難である。

小浜町農業振興地域の見直しについて

柴田議員 小浜町は背後地の傾斜が厳しく住宅を建てる場所が少ない。富津地域、北村地域全体を農振地域から除外し、住宅地を確保して人口減少に歯止めをかけるべきだ。

酒井部長 小浜町は平成13年度に全体見直しが行われ、富津木津地区の全面除外・北野地区の一部除外の協議もなされたが、荒地であつても農地が集団化しているとの理由で、県の同意が受けられなかった。この地区の全面除外は厳しいと考える。

固定資産税の課税誤りの処理状況は

柴田議員 旧吾妻・愛野・千々石町の固定資産税の課税誤りの報告があつたが、処理状況はどうなっているのか。

東市民生活部長 今回の課税誤りについては、大変迷惑をかけたが、還付は、2954万余円。追徴課税は320万円だが、減免を行い対象者へは1月上旬までに通知を予定している。



なかむら かずあき 南串山町
中村 一明 議員

市庁舎建設について

中村議員 市庁舎建設は市長の2期目の大きな課題と思うが市長の考えは。

奥村市長 市庁舎建設については、合併協定を尊重する旨の答弁をしている。新たに庁舎整備をする場合は合併特例債を活用しての建設になると思う。今後庁舎建設市民懇話会にも協議をお願いしており、間もなく答申も出るという報告もあり、よりよい方向に進めていきたい。

中村議員 合併協議会が

平成15年9月30日から行われており、愛野町に造ることが合併の条件だったと思う。市長は合併協定を尊重していると常に言うが、この4年間で決断するのか。

奥村市長 合併特例債が使える期間が限られており、残りの中で当然結論を出さなければならぬと思つている。

政権交代による市の財政について

中村議員 計画をされている市の事業に影響はどうか。運動公園や基盤整備等、大型事業への財源はどうなるのか。

境川総務部長 鳩山内閣

が9月16日に誕生し、国の第一次補正予算の見直しが行われ、最終的に3兆円の予算の執行停止がなされた。本市に関係する事業では、子育て応援特別手当及び農地有効利用整備事業については、減額あるいは組み替えせざるを得ないと判断し、今回予算計上した。

平成22年度国の予算については景気低迷による税収不足が確実な情勢の中、市財政に影響を与える地方交付税の取扱い等を含め、各省市と財務省の間で予算査定の中である。政権交代による平成22年度の予算に係る財政への影響は、現時点では明確に答えを出せる状況ではない。



ふかほり よしあき 国見町 深堀 善彰 議員

公共下水道事業の今後の方向性は

深堀議員 この事業の整備・維持管理のあり方は、中長期にわたり、相当な予算の確保が必要と予想される。今後の事業の展開としては、財政状況や中長期の財政計画を見極めつつ、早急に事業の方向性・整備区域等を決定しなければならぬと考えるが。

奥村市長 現在、国の認可を受けている下水道計画と市全体計画があるが、下水道事業及び浄化槽等の整備は、生活環境の改善と公共用水区域の水質保全を図る観点から、今後も促進を図って行かなければならないと考える。下水道計画については、今まで下水道事業債

と過疎債の抱き合わせにおいて振興してきたが、過疎法の延長が当面の間という期間でもあり、一定期間の担保がまだ上がっていない。また、今回、国から地方自治体に任せるといような文言もあり、不透明な部分があることからまだ市民に示す状況にはない。

下水道未整備地区の合併浄化槽維持管理費補助金のあり方は

深堀議員 下水道未整備地区の計画区域を確定するまでは、国見・小浜・南串山3地区の合併浄化槽を設置されてる市民にも、公平に市が定める下水道使用料を超える費用に対し、維持管理費補助金を出さなければならぬと考えるが。

奥村市長 合併浄化槽の維持管理費補助金については、今後、下水道整備計画と併せて考えなければならぬし、非常に厳しい選択を迫られていく。そのままにしておくわけにはいかない。

市内水道事業未整備地区は

深堀議員 水道事業未整備地区の今後のあり方について、市としてどのように考えているのか。

緒方建設整備部長 本年度中に水道事業の基本計画を策定予定なので、この計画の中で未整備地区の解消も含め検討する。

現在、未整備地区である千々石町の上岳・下岳地区から水道施設整備の要望が上がっており、地域説明会等を実施している。また、国見町の百花台地区については、未整備地区解消の一環として、市の水道に接続の計画について、地域説明会等を実施している。

今後、地域住民と十分に協議をしながら、調整していく必要がある。また、地区水道から市水道へ変わることで、住民の負担増が伴うことや、財政状況等総合的に考慮しながら、方向性を見出して行く考えである。



おだ こうめい 国見町 小田 孝明 議員

農地法の改正を農業・農村の活性化へ

小田議員 本年6月農地法が改正され、12月16日から施行された。

農地の効率的な利用を促進することが改正の中心となっている。放棄地や山間部等地域を限定をして、10aを借りて自給自足的農業や新規就農者が生まれるようにならないか。

富永農業委員会事務局長 農地法では10a程度の小規模での営農は認められないが、法人の構成員で常時農作業が可能な人は営農できる。

小田議員 他の市の農業委員会では10a程の面積から自給自足的農業を認

めているところがあるようだが、できないのか。今回、農協が農業経営できるようになった。農協が放棄地等を借りて、希望者に貸付けて、農地の有効利用を促進してはどうか。

富永事務局長 農業委員会として、今後、小規模農地の経営が可能かどうか。農協や法人等かどうか。取り組むことができるか。このことを調査研究し検討する必要がある。

一万頭から集中的に減らす

小田議員 島原半島に推定で1万頭のイノシシが生息しているという。半島3市で平成18、19、20年度で約5千頭捕獲し、農業被害額約1億円である。イノシシは1頭が年に4、5頭を生む。増えるが減らない。被害も対策費も10年、20年と減らない。農家は大変で耐えられない。3年とか5年とかで、集中的に捕獲し、山間部に生息し、里

野犬対策について

組めないか。酒井農林水産商工部長 半島3市が協力して全部の捕獲でなく住み分けをして、出てきた分を捕獲していく。

奥村市長 イノシシとの共存共生ということを含めて検討していかねばならない。

小田議員 10年、20年とイノシシと共生することは農家にとって何ら見通しが立たず、意欲もありません。何力年かの計画で目標を持って減らしていくべきである。

酒井部長 全部捕獲は現実的ではない。鳥獣保護法もあり共生を忘れてはならない。

小田議員 できない、できないではなく、被害農家の立場から、電気柵の1人補助の件等も、現場の実情を基本にして前向きに取り組んでほしい。

その他の質問事項

野犬対策について

「請願」・「陳情」をご存じですか？

請願・陳情は、市民の皆さまの意見や要望を市政に反映させるための制度です。

市政に意見や要望がある人は、どなたでも議会に請願や陳情を行うことができます。

請願・陳情は、常時受け付けていますが、原則として当該定例会の会期、議事日程を決める議会運営委員会招集日（詳しくは、議会事務局にお尋ねください）の前日午後5時までに提出されたものを日程にのせるものとしています。

■提出方法

請願書には、邦文を用いて、請願の趣旨、提出年月日、請願者の住所および氏名（法人の場合には、その名称、および代表者の氏名）を記載し、請願者が押印して提出してください。

請願には、1名以上の議員の紹介が必要です。紹介議員の署名または記名、押印を受けてください。

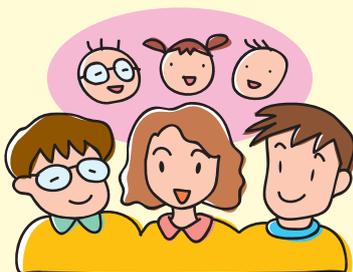
陳情は、原則として請願と同じ様式ですが、紹介議員は必要ありません。

請願書式例

	年 月 日
雲仙市議会議長	
請願者住所	
氏名	印
紹介議員	印
○○○○○○○に関する請願	
(請願の趣旨)	
(請願文)	

陳情書式例

	年 月 日
雲仙市議会議長	
陳情者住所	
氏名	印
○○○○○○○に関する陳情	
(陳情の趣旨)	
(陳情文)	



請願・陳情に関するお問い合わせは

雲仙市議会事務局

●電話番号 0957 - 38 - 3120

議会を傍聴してみませんか？

平成22年第1回（3月）議会定例会会期予定

月日	曜	種別	内容	月日	曜	種別	内容
2月24日	水	本会議	開会、議長報告、市長報告 議案上程・提案理由説明	8日	月	委員会	議案審査 文教
25日	木	休会	議案調査日	9日	火	委員会	議案審査 文教
26日	金	本会議	一般質問	10日	水	委員会	議案審査 産業
27日	土	休会		11日	木	委員会	議案審査 産業
28日	日	休会		12日	金	委員会	議案審査 総務
3月1日	月	本会議	一般質問	13日	土	休会	
2日	火	本会議	一般質問	14日	日	休会	
3日	水	本会議	一般質問	15日	月	委員会	議案審査 総務
4日	木	本会議	一般質問	16日	火	委員会	委員会審査予備日
5日	金	本会議	議案質疑・委員会付託	17日	水	委員会	議会運営委員会
6日	土	休会		18日	木	本会議	委員長報告・質疑・討論・採決 閉会
7日	日	休会					

※日程が変わることもあります。
詳細については、2月17日(水)開催予定の議会運営委員会で決定されます。



議会広報編集
特別委員会

- ◎ 小田 孝明
- ◎ 上田 篤明
- ◎ 中村 一明
- ◎ 大久保 信一
- ◎ 浦川 康二
- ◎ 平野 利和
- ◎ 酒井 恭二
- ◎ 坂本 弘樹
- ◎ 林田 幸幸

◎ 委員長
○ 副委員長

編・集・後・記

昨年11月に市議会議員選挙が行われ、議会広報編集特別委員会のメンバーも一新されました。総勢9名のうち5名が新人議員という顔ぶれです。(第18号参照)編集作業は初めてという人もいるようですが、経験者の知恵と新人のフレッシュなアイデアとが合わされば、これまでにない「議会だより」ができるのではないのでしょうか。

雲仙市議会も2期目に入りました。市議会に寄せられる期待も批判も、これまで以上に大きくなることを自覚しなければなりません。「議会だより」は市民と市議会をつなぐパイプです。編集委員会はその大事な仕事を果たす役割を持っていきます。議会からの一方通行にならないように、ぜひ市民のみなさんの率直なご意見をお寄せくださいますようお願いいたします。

上田 篤

平成22年2月1日発行/第19号 発行 ● 雲仙市議会
〒805-0107 長崎県雲仙市吾妻町牛口谷714 ☎0957-38-3111 FAX0957-38-2222 HALL: 1階 http://www.city.unzen.nagasaki.jp/ Eメール info-unzen@city.unzen.nagasaki.jp